

コミュニティ通訳・翻訳ボランティア語学スキルレベルチェック 企画提案公募に係る質問の回答について

1.	<p>Q. 応募書類作成要領 「2-(2)ウ 実施計画」について、テストや評価指標設定の概要は、現時点で内容の詳細確定しておらず、大枠の方法を計画しているだけですが、その旨を「概要」としてもよいでしょうか。(テストの具体例も、一言一句を書くわけではなく、おおよそどのようなものかという枠組みで、問題ないでしょうか。)</p> <p>A. 結構です。</p>
2.	<p>Q. 応募書類作成要領 「2-(2)オ 評価体制」について、「評価に係る項目、手法、体制等について記載すること」とありますが、ここでの「評価」として想定されているのは、開発したレベルチェックやテストによってどのような評価を行うかということではなく、事業自体の評価(目的や計画、内容や効果の到達度、運営の良否等)でしょうか。</p> <p>A. ここでの評価体制は、レベルチェックテストの結果に基づく語学レベルを、どのように評価する体制であるかについての記載を求めています。</p>
3.	<p>Q. レベルチェックテストについて、対象者となるボランティア登録人数(翻訳者・通訳者)および、予測される新たな参加希望者は何名ですか。</p> <p>A. 受検者となりうるボランティア通訳者・翻訳者の数については、大阪府内の全ての国際交流協会に登録しているボランティア数に比例しますので、正確な登録者数や新規登録者数を述べることは出来ませんが、いずれにしてもレベルチェックテストでは通訳テスト・翻訳テストは両方を受けていただくことを前提としていますので、1回分の受検者を40名程度と想定しています。</p>
4.	<p>Q. 各市町村国際交流協会等の団体数はどのくらいですか</p> <p>A. 概ね30団体です。</p>
5.	<p>Q. 仕様書にある6. 委託内容について、(3)では、レベルチェックテスト(2回分)の作成とありますが、第3回レベルチェックテストの記載が直下にあるので、テスト実施は、3回ではないでしょうか?</p> <p>A. 開発していただきたいレベルチェックテストは第1回~第3回までの3回分ですが、実施をお願いしたいのは6(5)のとおり、第1回分のみになります。第2・3回については、マニュアルに基づく研修を受けた大阪府内国際交流協会等が実施します。</p>
6.	<p>Q. 仕様書にあるレベルチェックテストの内容について、設問A・Bは、問題3分程度なのか、3分が最大なのか、いずれでしょうか。</p> <p>A. 3分程度を想定しています。</p>
7.	<p>Q. 仕様書にあるレベルチェックテストの内容について、設問A・Bは、必ず、1言語の複文を3分間続けて聞き終えた後で、最大7分を別言語で表現するものと規定されるのでしょうか。</p> <p>A. その様な形式でも構いませんが、必須条件ではありませんので、例えば音声を区切りながら、その都度訳す形式でも結構です。</p>
8.	<p>Q. 仕様書にあるレベルチェックテストの内容について、「テストは筆記ではなく、口頭で行うことを前提」とありますが、(書いたものや、書く行為自体は)採点評価の対象外ではあっても、回答(通訳)のためのノートテイ</p>

	<p>キング（メモ取り）は推奨あるいは前提とした問題でよいでしょうか。</p> <p>A 通訳時のノートテイキング（メモ取り）を推奨あるいは前提とした問題でも結構です。</p>
9.	<p>Q. 仕様書にあるレベルチェックテストの内容について、設問 C は、サイトトランスレーションが想定されているのでしょうか。それとも、完全に文章で書くのか、一部の書き出し等でしょうか。</p> <p>A 設問Cの回答については、完全に文章で書くことを想定しています。</p>
10.	<p>Q. 仕様書にあるレベルチェックテストの内容について、設問 A・B・C を一連のプロットとして、日→英通訳、英→日通訳、日英翻訳を交互に行い、かつ設問内容6分野が盛り込まれているものを 2 種作るといった方法も提案可能でしょうか。</p> <p>A テスト内容の分野を指定している理由の一つとして、受検者の得意・不得意分野を把握することを想定していますので、一連のプロットにされた場合に、問題の内容（分野）が複合的になることで、得意・不得意分野の把握が困難になることは望ましくありません。</p>
11.	<p>Q. 仕様書にあるレベルチェックテストの内容について、設問の CD は計 3 回のテストの内容を録音して、事業内でのテスト実施と成果物としての提出用 1 枚程度だけを作成すればよいのでしょうか。マニュアルの付録としての配布が想定されているのでしょうか。</p> <p>A マニュアルの付録としての配布を想定しています。</p>
12.	<p>Q. 仕様書にあるレベルチェックテストの内容について、テストの結果を「把握」（判定）する、審査者は、どのような語学レベルの人を想定すべきなのでしょうか。簡単な日常会話なら英語でできる程度の方なら判定できるような設問内容や指標でなくてはいけないのでしょうか。</p> <p>A 審査者の規定はありませんが、日英の双方において高い語学力が必要と認識していますので、そのような方々を想定した設問内容や指標の設定を提案ください。</p>
13.	<p>Q. 仕様書にあるレベルチェックテストの結果分析の評価指標設定、根拠の説明について、「設定した指標は、今後作成するすべてのレベルチェックテストにおいて、共通に参照できる指標とすること」という指定の、「すべて」は、どこまでの範囲でしょうか。</p> <p>A すべてとは、今後、作成を予定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 今回開発される第 1～3 回のテストを多言語化した、英語以外の言語のレベルチェックテスト • 今後開発される予定の、第 4 回以降のレベルチェックテストを指しています。つまり、今回ご提案いただくのと同じテストを翻訳して作成した中国語のテストや、あるいは同じ手法で開発した 4 回目、5 回目のテストにも共通した評価指標設定が望まれます。
14.	<p>Q. 仕様書にあるレベルチェック・テストの作成・分析手法に関するマニュアルの作成について、部数の目安があれば、研修参加団体の見込み数をもとにご教示頂けるでしょうか。</p> <p>A 研修参加団体数は概ね 30 団体です。</p>
15.	<p>Q. 仕様書にあるレベルチェック・テストの作成・分析手法に関するマニュアルの作成について、ページ数や仕様には、おおまかな想定はされておられ</p>

	<p>るでしょうか。</p> <p>A ページ数はレベルチェックの内容などによってもそれぞれのご提案で幅があることが予測されるために明確には指定しておりませんが、仕様については（出来れば）カラー表紙、中身についてはモノクロ、無線トジを想定しています。</p>
16.	<p>Q. 仕様書にあるマニュアルに基づいた研修（1回）の実施について、実施会場は貴財団に提供して頂けるのでしょうか。</p> <p>A 当財団から提供はできませんので、実施会場はお手配いただく必要があります。</p>
17.	<p>Q. 仕様書にあるマニュアルに基づいた研修（1回）の実施について、対象者は、国際交流協会等の該当事業運営（通訳翻訳ボランティア募集やレベルチェック実施）の担当者の方であって、（必ずしも）実際に語学上の評価採点をされる方本人ではない前提での研修でしょうか。</p> <p>A そのとおりです。ただし協会等によっては、担当者=語学上の評価採点をされる方本人の可能性もあります。</p>
18.	<p>Q. 仕様書にあるマニュアルに基づいた研修（1回）の実施について、貴財団関係市町村国際交流協会等に具体的な案内を行うこと（案内書類作成、Eメールや郵便発送）や、その他広報なども業務に入るのでしょうか。</p> <p>A 入りません。案内等は当財団が行います。</p>
19.	<p>Q. 【様式3-1、3-2 積算内訳】について、印刷製本費には研修時点で配布する「簡易マニュアル」の印刷製本も、ここに想定されているのでしょうか。</p> <p>あるいは、研修実施後のアンケートの結果など、事業全体を踏まえた成果として、ボリュームとしてはより大部のマニュアル作成が想定され、その印刷製本も必要なののでしょうか。その場合、提出用だけでよいのか、後日の配布なども想定して大量の印刷が必要なののでしょうか。</p> <p>A 仕様書等ではマニュアルあるいは簡易マニュアルと別の表現で掲載をしておりますが、いずれも同じ物を指しています。マニュアル自体は事業全体の成果として提出していただきますが、後日、大阪府内の国際交流協会等への配布を予定しておりますので、研修参加団体と同じく、概ね30部が必要です。そのため、研修時に製本されたマニュアルが間に合わないことが予測されますが、その際にはコピー等を資料として当日配布いただいても構いません。</p> <p>なお、印刷製本費には、コピー代（リース料など本体に係る費用は除く）、印刷費、製本費などを想定しています。</p>
20.	<p>Q. 【様式3-1、3-2 積算内訳】について、別紙科目別積算内訳書での摘要欄では「損害保険料等」とありますが、どこまでの範囲が認められるのでしょうか。</p> <p>A 本事業を担当する事務補助員の賃金に係る社会保険料や事業協力者に関するボランティア保険は認められますが、出張時の旅行保険は認められません。</p>
21.	<p>Q. 【様式3-1、3-2 積算内訳】の賃借料について、テスト実施や、貴財団をお訪ねしての打ち合わせが必要な際の会場などをご提供頂けるものと考え、会場賃借は予算計上しなくてもよろしいでしょうか。当方でのテスト</p>

	<p>原案作成やサンプルテスト実施にかかる会場経費だけでよいでしょうか。</p> <p>A 当財団には 10 名までの打合せに使用出来る会議室がある以外は、用意の出来る会議室や会場はございませんので、サンプルテスト実施、テスト実施、研修実施等、全てにおいて会場の手配が必要になりますので、それを踏まえた上で、かかる会場費の計上をしてください。</p>
22.	<p>Q. 【様式 3-1、3-2 積算内訳】の委託費について、レベルチェック設問用の CD 作成一式を他の 1 団体に一括委託する際、機材のほか、オペレーター等の人的経費も含まれますが、問題ないでしょうか。</p> <p>A 構いませんが、再委託先団体へも委託団体と同じ要件（公募要領参照）が問われますので、その点、ご注意ください。</p>